

東千葉メディカルセンターにおけるアクシデント報告件数

当センターでは、インシデント・アクシデント事例を収集し、情報共有と改善策を見出すために活用しています。また医療の透明性を高め、患者および地域の皆様に信頼頂けるよう「東千葉メディカルセンターにおける医療事故の公表基準」に基づき情報を公開しています。

令和2年度下半期（令和2年10月～令和3年3月）

	レベル 3b	レベル 4a	レベル 4b	レベル 5	合計
薬剤に関すること	0	0	0	0	0
輸血に関すること	0	0	0	0	0
治療・処置に関すること	6	1	1	0	8
医療機器等に関すること	0	0	0	0	0
ドレーン・チューブに関すること	0	0	0	0	0
検査に関すること	1	0	0	0	1
療養上の世話に関すること	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
合計	7	1	1	0	9

インシデント・アクシデント影響レベル

レベル	内容
レベル 0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
レベル 1	患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル 2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
レベル 3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル 3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
レベル 4a	永続的な傷害や後遺症が残ったが、有意な機能傷害や美容上の問題は伴わない
レベル 4b	永続的な傷害や後遺症が残り、有意な機能傷害や美容上の問題を伴う
レベル 5	死亡(原疾患の自然経過によるものをのぞく)